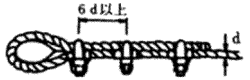
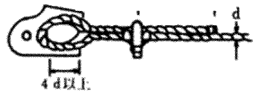
	(8) 計器及び安全装置	a　リーダー傾斜角度計（電気式のものに限る。）	リーダーを前後左右に傾斜させ、作動の適否を調べる。	正常に作動すること。
		b　荷重計	①　負荷をかけ、作動の適否を調べる。	①　正常に作動すること。
			②　検出器及び取付け部の亀裂及び変形の有無を調べる。	②　亀裂及び著しい変形がないこと。
			③　取付けボルト及びナットの緩み及び脱落の有無を調べる。	③　緩み及び脱落がないこと。
		c　巻過ぎ防止装置及び巻過ぎ防止警報装置	この表の「1.7　ジブ」の検査方法及び判定基準を適用すること。	

1.9　ワイヤロープ

検査対象の構造及び装置		検　査　方　法	判　定　基　準
1.9 ワイヤロープ	(1)　ワイヤロープ	①　仕様及び長さの適否を調べる。	①　当該車体の構造及び性能に照らし、適正な仕様及び長さであること。
		②　直径の減少量を調べる。	②　減少量は公称径の７％以下であること。
		③　素線切れの有無を調べる。	③　ワイヤロープの一より当たりの素線切れの数が、素線数の10％以内であること。
		④　キンク、形くずれ及び腐食の有無を調べる。	④　キンク、著しい形くずれ及び腐食がないこと。
		⑤　油切れの発生の有無を調べる。	⑤　油切れが発生していないこと。
	(2)　ワイヤロープの端末処理	①　クリップの適否を調べる（クリップ止めのワイヤロープに限る。）。	①　クリップの方向が正しく、かつ、下図に掲げる間隔はワイヤロープの太さｄの６倍（６ｄ）以上であり、かつ、締付けが適正であること。 
		②　ソケットの装着状態を調べる（コッター止めのワイヤロープに限る。）。 　また、クリップ併用の場合は、クリップの適否を調べる。	②　コッターはソケット長さいっぱいに入り､かつ､ロープに締めしろがあること。 　下図に掲げるソケットとコッターの接触はワイヤロープの太さｄの４倍（４ｄ）以上であること。 
		③　ソケットの亀裂及び変形の有無を調べる（コッター止めのワイヤロープに限る。）。	③　亀裂及び変形がないこと。
		④　ピン及びピンの抜け止めの異常の有無を調べる（合金詰めソケット止めに限る。）。	④　ピン及びピンの抜け止めに異常がないこと。
		⑤　腐食の有無を調べる（合金詰めソケット止め及び圧縮止めに限る。）。	⑤　腐食がないこと。
	(3)　ドラムへの取付け	①　取付け状態を調べる。	①　コッター止め部におけるコッターとワイヤロープとの接触部分の長さ及び締めしろが適正であること。
		②　ワイヤロープの捨巻きの長さを調べる。	②　捨巻きは２巻き以上であること。

別表第２　整地・運搬・積込み用機械

2.1　ブル・ドーザー及びトラクター・ショベル（クローラ式のものに限る。）

検査対象の構造及び装置		検　査　方　法	判　定　基　準
2.1.1 原動機	ディーゼルエンジン	別表第１の「1.1.1　ディーゼルエンジン」の検査方法及び判定基準を適用すること。	